

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0901024

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成22～25年度 事業費(受益者負担分)689,064千円 ・草地整備 1,260ha ・家畜保護施設(畜舎)3棟 ・飼料貯蔵施設(バンカーサイロ)10基 ・家畜排せつ物処理施設(スラリストア)2基
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	5 農業による地域の活性化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)	見直し年度		
事業期間	平成22年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	北海道農業開発公社	関係課	#N/A	
事業指標	草地整備・施設整備	関係課	#N/A	
事業目標	草地整備831ha・施設整備 畜舎3棟 バンカーサイロ6基 スラリストア2基	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	平成21年度で資源リサイクル畜産環境整備事業が完了することから、引き続き草地整備及び施設整備を図る必要性があり、本事業により担い手の育成を通じて土地利用集積の推進による規模拡大や飼料生産基盤の促進による酪農振興と地域経済の活性化を図るものである。 ※単位施策～「土地基盤の充実」にも該当			草地整備 217ha 全体事業費 198,568千円 国費 99,284千円 受益者負担 99,284千円	草地整備 332ha 施設整備 畜舎 2棟 全体事業費 366,224千円 国費 173,484千円 受益者負担 169,721千円 道費 23,019千円	草地整備 344ha 全体事業費 195,888千円 国費 90,827千円 受益者負担 73,664千円 道費 30,878千円 一財 519千円
	事業費(千円)	393,453	0	99,284	192,740	101,429
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	50,265			23,019	27,246
	地方債	0				
	その他	342,669		99,284	169,721	73,664
	一般財源	519				519
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	66,063		18,248	22,899	24,916
	地方債	0				
	その他	229,053		50,314	112,652	66,087
	一般財源	1,785		1,081	458	246
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)					
	○畜産担い手育成総合整備事業建設施設売払収入	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	○畜産担い手育成総合整備事業受託収入					
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連(継続無し)	年度目標値			草地整備 217ha	草地整備 282ha・施設整備 2棟7基
	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	70%	71%	90%
	全体達成率	0%	0%	18%	52%	75%
	事業進捗状況			☆☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	農務係主査	宇野敏志

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	事業参加農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	基盤整備		
【抱える課題やニーズは】	継続した酪農環境整備の推進		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	資源環境型農業の実施		① 基盤整備面積	目標年度	平成24年度
				目標値	344 ha
実績値	295 ha				
達成度	85.8 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	酪農環境の改善や草地整備の推進	②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0! %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	基盤整備の実施	草地整備面積 344ha			

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	基盤整備は、継続的な酪農業の発展に必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	参加農家の希望に沿った計画的な基盤整備が実施された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	実施主体が北海道農業公社であり、発注等も公社で行っていることから、コストに見合った効果は得られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	事業費は、国費・道費・受益者負担で賄われており、公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
受益者の要望どおり事業が実施されている。		

今後の展開方向 (Action)		
継続/現状維持		
更なる発展を図るため、今後も計画どおり実施する必要がある。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止